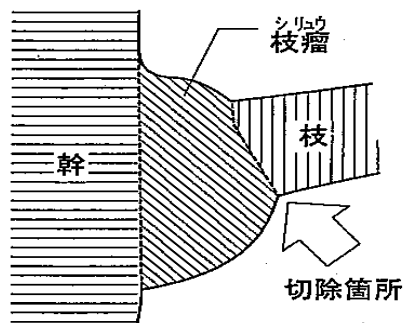


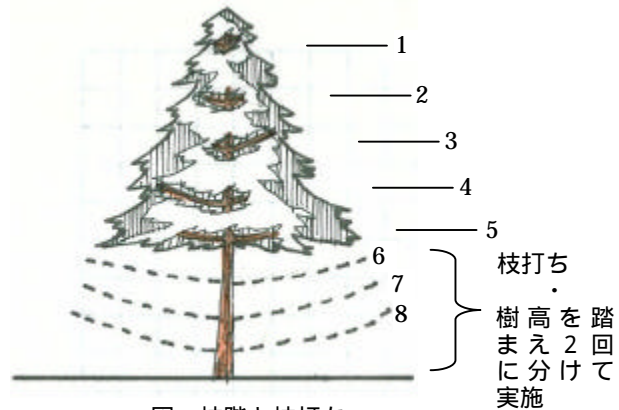
## 3 - 1 . 整枝・剪定〔枝打ち〕

## 3-1-1.針葉樹

- ・ 生育に影響しない最低5枝階は残し、枝打ちすることを基本とする
- ・ 切除箇所は枝瘤を残し、樹勢を考慮し2回に分けて枝打ちをする
- ・ 林間を歩行する状況にあれば、地面から2mまでを目安に枝打ちをする



図：枝打ち部分の幹の癒着を順調に誘導するため、枝瘤(しりゅう)を残して、枝に対して直角に剪定する



図：枝階と枝打ち

枝打ち  
・  
樹高を踏  
まに2回  
に分けて  
実施

写真：枝瘤(しりゅう)を残して、枝に対して直角に剪定した良い事例  
樹種：アカエゾマツ



- ・ 針葉樹は枝抜けなどの雪害対策として、最低5枝階(最近5年間に出た枝)を残して枝打ちすると良い 枝抜けは3-1-3.法面部植栽木における裾枝打ちを参照
- ・ 5枝階を残すのは、伸びる支障がないこと、成長を保障し、ヤニの大量の排出を抑えることであり、樹木の生育に影響を与えないためである
- ・ 針葉樹はヤニで傷口を塞ぐので、防腐剤は不要である
- ・ 枝打ちの目安としては、1回目は2mの時に0.6m程度まで枝打ちし、2回目は4mを超えたとき、2.0mまで枝打ちする
- ・ 単年度に全て枝打ちを行うと、樹木にショックを与え、樹勢に影響がでるため、2回に分けて実施するが良い
- ・ 2mまで枝打ちを行うのは、防雪林など林内を人が歩けるようにするため、2m程度のクリアが必要となる
- ・ 積雪深のある地域は、その深さを超える所まで、枝打ちをする
- ・ また歩行に影響がない場所においては、道路側で積雪深にあわせ、枝打ちをする
- ・ 払った枝は足元周りに置いておく 3 - 2 . 除草を参照